

01

ブルネイ/バンドル・スリ・ブガワン

総面積：100.4km² / 人口：64,409人 /
人口密度：641人 / km²



都市の現状

ブルネイの首都で、ブルネイ湾に注ぐブルネイ川下流部に位置する。石油・天然ガス開発による豊かな経済力を背景に煌びやかな都心部とは対照的に、ブルネイ川にはカンボン・アイールと呼ばれる昔ながらの水上集落が存在。

スマートシティ行動計画

ビジョン：ブルネイ遺産の宝石としてカンボン・アイールを開発し、バンドル・スリ・ブガワンのスマートシティ開発計画の一部として成長を促進する。

重点分野：市民と社会、産業とイノベーション、健康と福祉

Project 1：カンボン・アイールの再生(水上集落)

・バンドル・スリ・ブガワンの持続可能なスマートシティ開発計画に不可欠である「カンボン・アイール」集落は、ブルネイ独自の特性を備えた持続可能な環境と多様な経済が織り交ざった住みやすい都市へと再開発される。

Project 2：クリーンな河川管理プロジェクト

・廃棄物の生成、廃棄物の収集と処理に関連する課題を克服し、持続可能な廃棄物管理業務を促進する制度的枠組みを導入し、ブルネイ川の水質を回復する。
・最新技術の介入により、河川への排水や廃棄物管理に関する規制や強制措置を強化する。

取組み状況

Project 1

・主な成果

カンボン・アイールの再生は、第11次国家開発計画の下で資金提供されたプロジェクトの一つで、内務省が実施している。本プロジェクトの目的は、カンボン・アイールの住民の生活水準を向上するためにスマートな建物・インフラの開発、高品質な住宅ユニットの建設、ならびに公益施設の総合網を確保することである。

本プロジェクトは高品質住宅ユニットの建設、スマートな建物・インフラの建設、公共施設の総合網の確立に取り組むと共に、集落の文化遺産と社会機構を維持することが求められる。カンボン・アイールの再生は、2011年に開始したバンドル・スリ・ブガワン開発マスタープラン(BSBDMP)の促進剤となるプロジェクトの一つである。この程、政府が本プロジェクトを承認し、現在政府関係者の評価段階にある。

・直面する課題や障害

プロジェクト実施中にいくつかの課題に直面した。以下に例を挙げる。(1) 様々な政府関係者との強力な連携が求められるが、こうした関係者はそれぞれが異なる政策要件があり、実施に向けた最適な案を導き出すには時間を要す。(2) 本プロジェクトの実施に不可欠となる地域住民(水上集落の住民)との継続的な協議とやりとりが必要であり、これも時間を要す。

・今後の方向性・推奨事項

現在、政府はプロジェクト実施工程のスケジュールを見直している。同時に、政府はバンドル・スリ・ブガワン開発マスタープランの実現に向けた相乗効果を支援・強化するための資金調達またはその代替案として官民パートナーシップ(PPP)を通じ、カンボン・アイールの再生に関連し得る経済志向プロジェクトのプロポーザルを幾つか公開している。

Project 2

・主な成果

政府の環境政策の基盤は異なるものの、政府は河川をきれいにするための汚染軽減プロジェクトを積極的に取り組んできた。係る取組みにより汚染を削減することに成功したが、より効果的な成果を確保するため、現在継続的な取組みや持続可能な戦略の確立を実施している。

・直面する課題や障害

様々な政府関係者との継続的な連携や取組みは、本プロジェクト実施に極めて重要である。また、並行する清掃プロジェクトや意識向上の観点から、地域社会も重要な役割を担っている。地域社会の認識と支援、そしてそれを支える政府の取組みにより、本プロジェクトを成功に導く包括的アプローチが創出される。

・今後の方向性・推奨事項

政府は、河川汚染を軽減するためにコンサルタントの助言を受けながら、既存の戦略を継続して実施していく。なお、特定の課題、とりわけ問題の原因を特定したり、様々な課題を緩和する優良事例の活用等に対し、コンサルタントや技術専門家からの支援、ASEAN スマートシティネットワーク(ASCN)内の連携、協力なども歓迎する。

スマートシティ最高責任者

Mr. Haji Ali Matyassin / バンドル・スリ・ブガワン都市委員会 委員長 /
Email : ali.matyassin @bandaran -bsb.gov.bn